

本の読み方、新聞の読み方を考える

開倫塾

塾長 林 明夫

- 1 . 本は2度読む、3度読む。
新聞も2度読む、3度読む。
- 2 . 大切と思われる本は4度、5度読む。
大切と思われる新聞は4度、5度読む。
- 3 . 残しておきたいと思われる内容には、線を引いておく。
 - ・ えんぴつや色えんぴつ
 - ・ 黒ボールペンや色ボールペンで
 - ・ マーカーでマークも有益* 読みながら、ノートや欄外に内容をまとめる、大切な語句を欄外に書く。
- 4 . 最も大切な内容は、本であれば「書き抜き読書ノート」に書き写す。
新聞であれば、新聞記事を切り抜き「新聞記事切り抜き帳」つまり「スクラップブック」に貼り付ける。
本の名前や著者名、新聞名と記事日付もメモしておく。
- 5 . 「書き抜き読書ノート」、「新聞記事切り抜き帳」は、自分にとっての宝物。繰り返し繰り返し、何十回、何百回、何千回も読む。声を出して音読する。書き取り練習するつもりで書き写す。
- 6 . 自分自身のものとして定着すると、行動指針となり、人格の基礎ともなる。
- 7 . 読書週間は10月27日から1週間。
新聞週間は10月15日から1週間。
それまでの1か月間、本と新聞を毎日1時間ずつじっくりと読み進めよう。